

6-1. (必須)レイヤ・レイヤグループ

JW-CADにおけるレイヤ・レイヤグループの概要

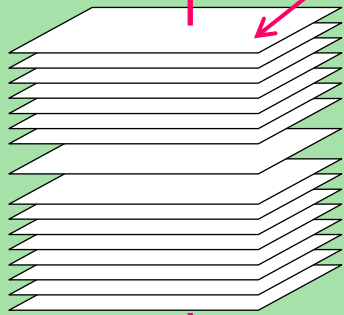
図のようにJW-CADでは

1グループ内にレイヤ16枚(0番~F番:16進数) × レイヤグループ16組(0~F:16進数)

合計256枚の用紙への「書込み」及び「編集」、「表示のみ」、「非表示」等の操作ができます。

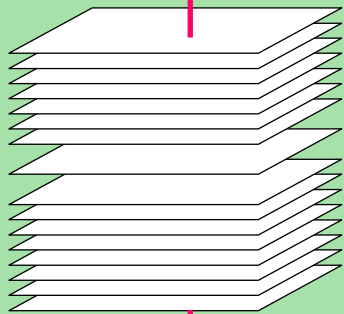
レイヤ(用紙)256枚全て重ねた状態を1枚の図面として表示します。

レイヤグループ0...
例: 建築図を作図
レイヤ(用紙) × 16枚



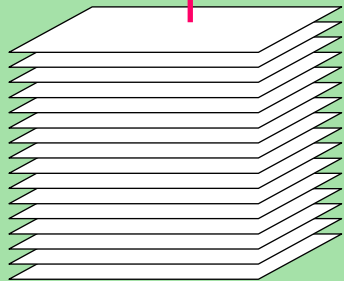
透明な図面用紙
...レイヤ0 例: 通り芯を作図
...レイヤ6 例: 寸法を作図
...レイヤ7 例: 建具を作図
...レイヤ8 例: 内装を作図
...レイヤF 例: 補助線を作図

レイヤグループ1...
例: 電気図を作図
レイヤ(用紙) × 16枚



...レイヤ0 例: 配線を作図
...レイヤ6 例: 寸法を作図
...レイヤ7 例: シンボルを作図
...レイヤ8 例: 条数を作図
...レイヤF 例: 補助線を作図

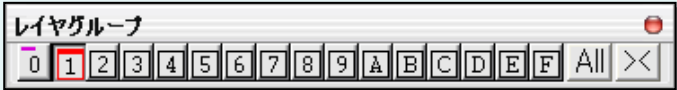
レイヤグループ2



...レイヤ0
...レイヤF

レイヤグループF

レイヤ(用紙)
× 16枚 × 14グループ



レイヤグループ操作例

... 建築図中に電気図を作成したいときにはレイヤグループ0(建築図)を**表示のみ**にし、建築図データを誤って変更・消去するのを防ぎます。ツールバー「レイヤグループ」の操作方法は1-5(4)で説明。



レイヤ操作例

... 電気図のシンボルのみを表示・編集したいときにはレイヤ7以外を**非表示**にします。

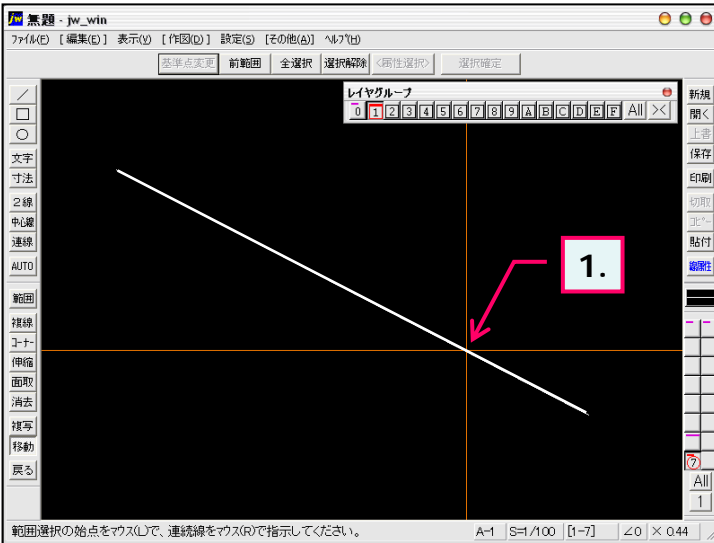
ツールバー「レイヤ」の操作方法は1-5(4)で説明。



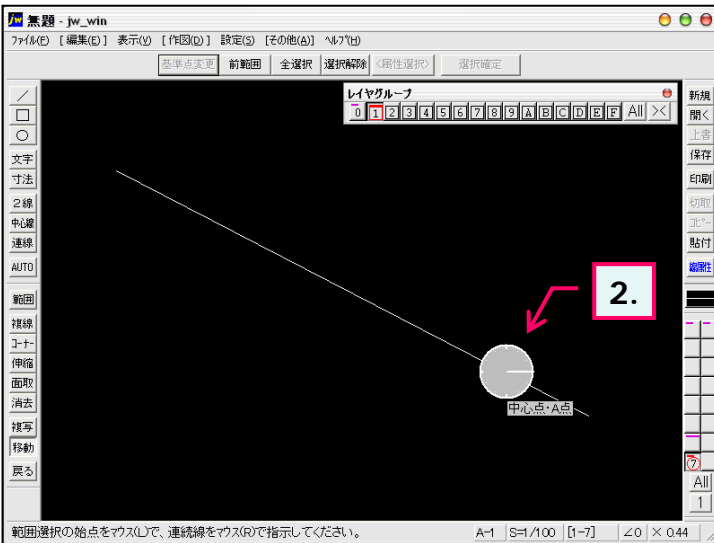
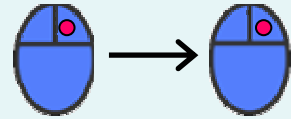
6-2(1). クロックメニュー(AUTOモード時以外)-1

通常モード(AUTOモード時以外)でのクロックメニューの使用方法を見ていきます。
ツールバーからは指示できない項目(特定箇所の始点・終点他)を指示・設定することができます。

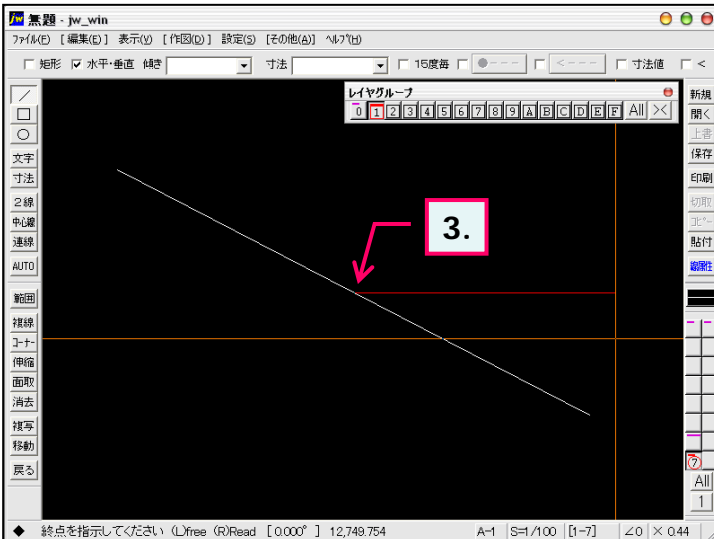
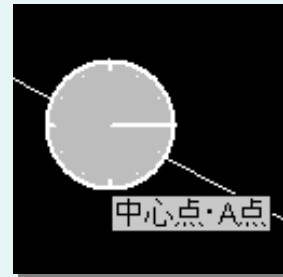
直線の間接点を指示します。



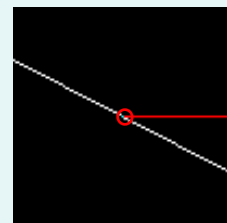
1. 中間点を指示したい直線上でマウス右ボタンを押したまま右(3時方向)へ移動します。



2. 図のようにクロックメニュー「中心点・A点」が表示されます。



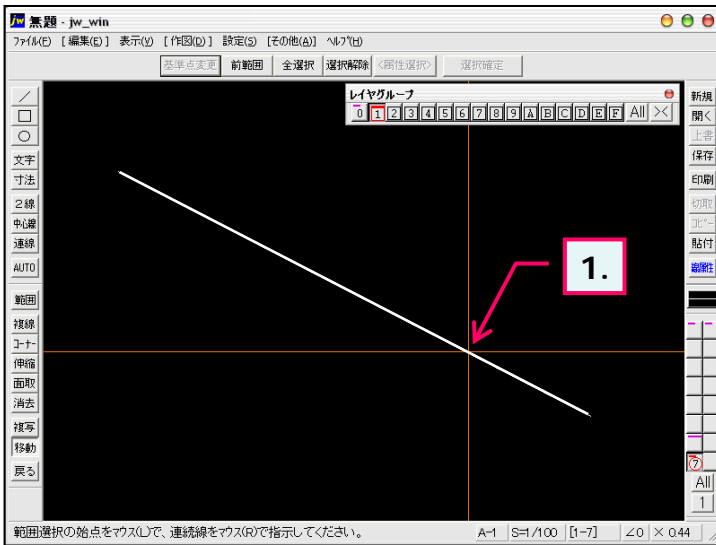
3. 上記クロックメニューが表示されたら右ボタンを離します。
左図のように直線の間接点が指示されました。



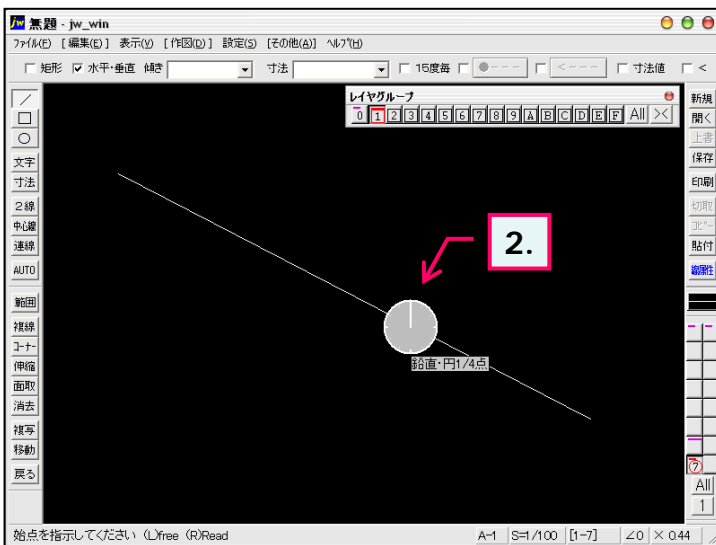
読取った箇所に印が表示されます。

6-2(2). クロックメニュー-2

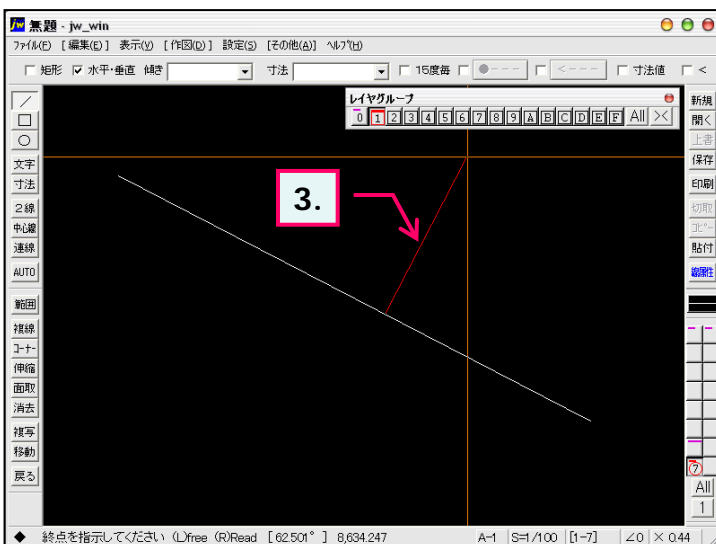
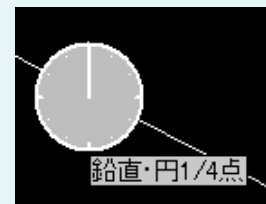
対象の直線に対して鉛直線を描きます。



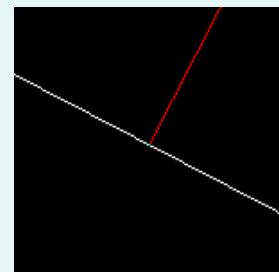
1. 鉛直線を描きたい直線上でマウス右ボタンを押したまま上(0時方向)へ移動します。



2. 図のようにクロックメニュー「鉛直・円1/4点」が表示されます。

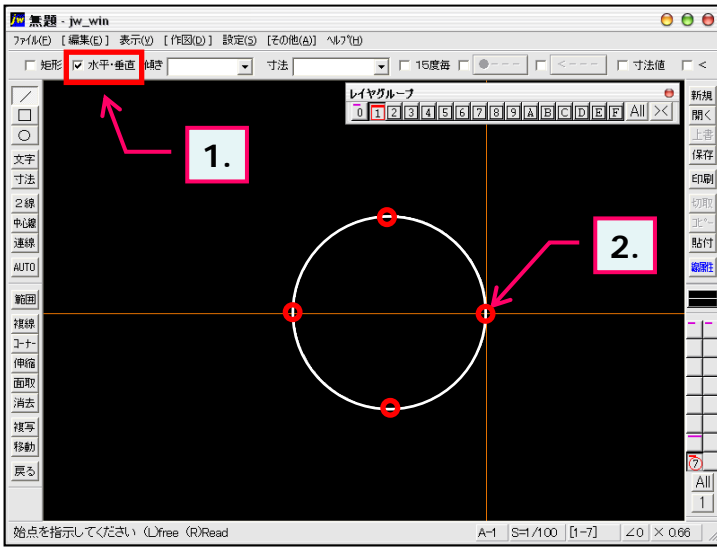


3. 上記クロックメニューが表示されたら右ボタンを離します。
左図のように対象直線に対して鉛直線が表示(仮表示線)されました。
…始点は対象直線上となります。



6-2(3). クロックメニュー-3

円上の1/4点を指示します。

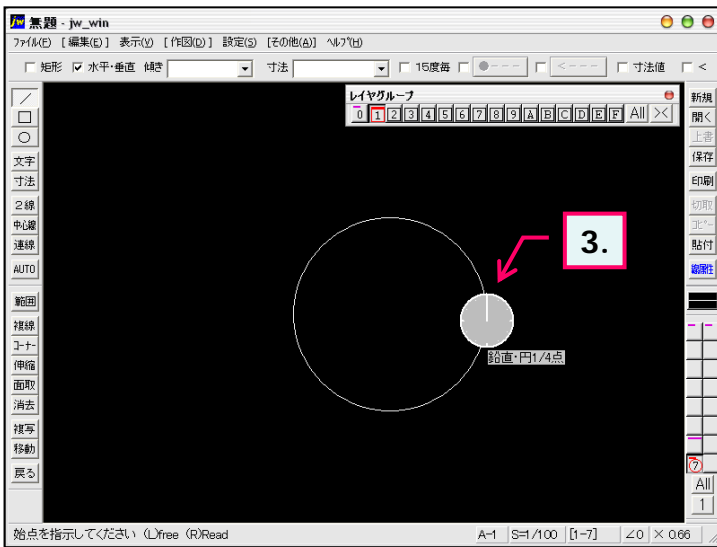


1. 「水平・垂直」にチェックが入っていることを確認。

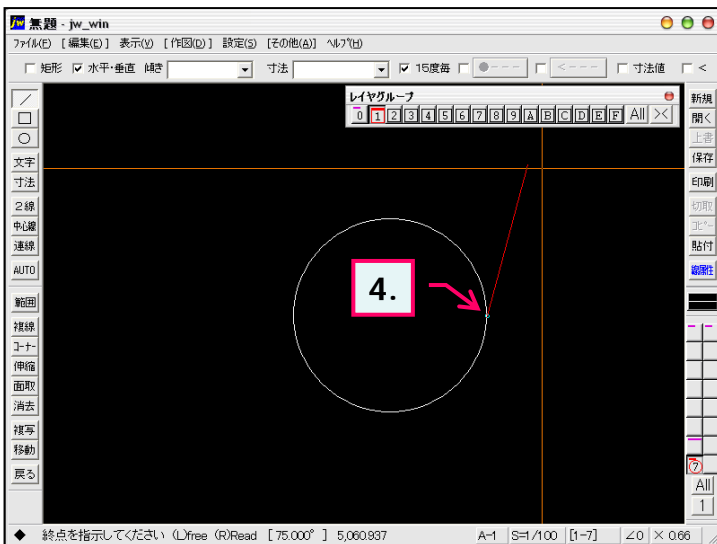
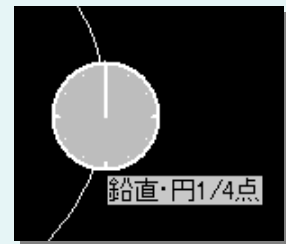
2. 指示したい円上1/4付近で鉛直線と同様に、マウス右ボタンを押したまま上(0時方向)へ移動します。



円上の●印は1/4点です。

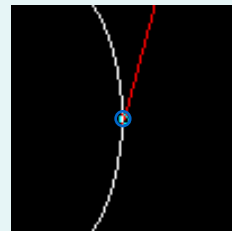


3. 図のようにクロックメニュー「鉛直・円1/4点」が表示されます。




4. 上記クロックメニューが表示されたら右ボタンを離します。

左図のように円1/4点が指示されました。

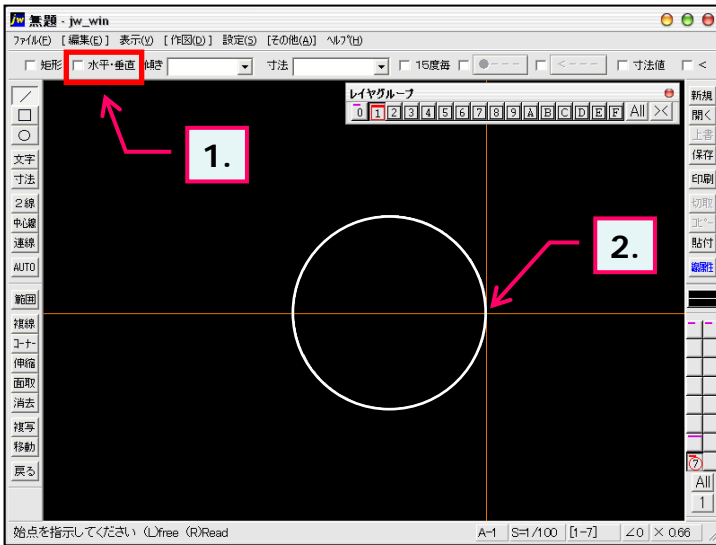


読取った箇所に印が表示されます。

 2-1で設定した環境ファイル一般(1)内に「円周1/4点読取りを円周1/8点読み取りにする」にチェックを入れることで1/8点を指示することができるようになります。

6-2(4). クロックメニュー-4

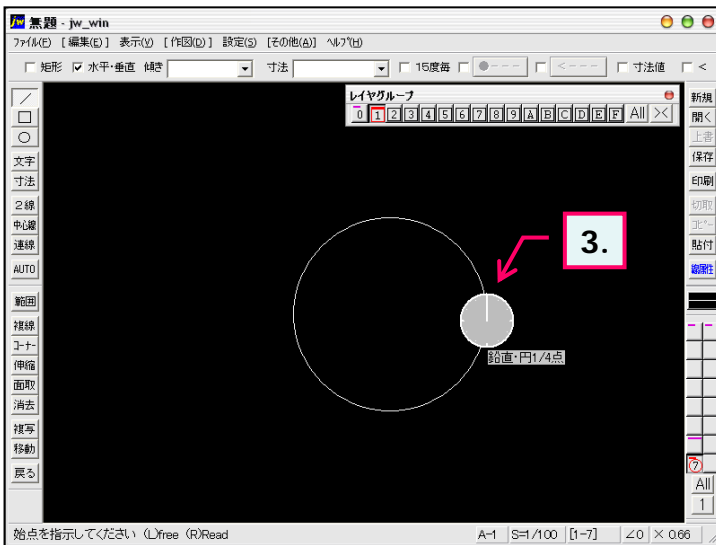
対象の円上に対して鉛直線を描きます。



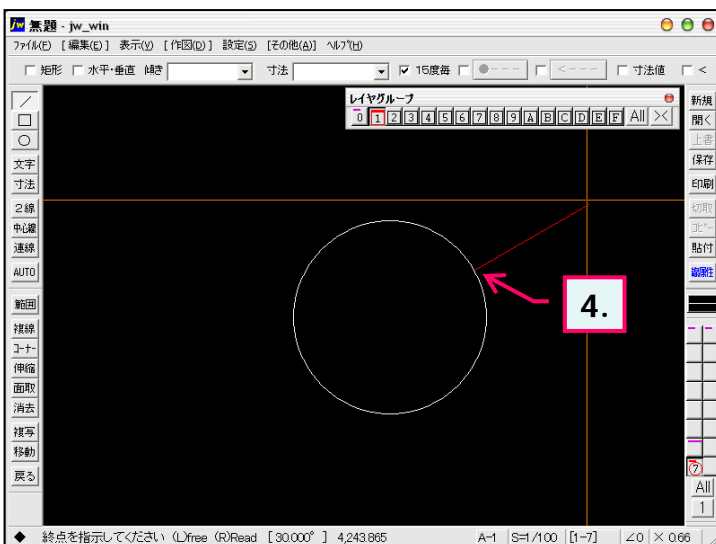
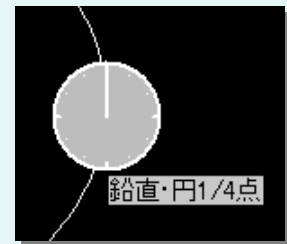
1. 「水平・垂直」にチェックが入っていないことを確認。

2. 鉛直線を描きたい円上で、マウス右ボタンを押したまま上(0時方向)へ移動します。

💡 下記4.の仮表示線が表示後、「水平・垂直」にチェックを入れると仮表示線が90度毎に移動します。
また、「15度毎」にチェックを入れることで仮表示線を15毎に移動させることができます。



3. 図のようにクロックメニュー「鉛直・円1/4点」が表示されます。

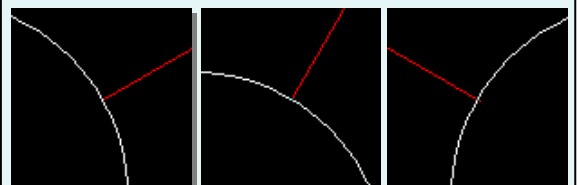


4. 上記クロックメニューが表示されたら右ボタンを離します。

左図のように円上に対して鉛直線が表示(仮表示線)されました。

マウスを移動(回す)すると下記のように鉛直線も移動します。

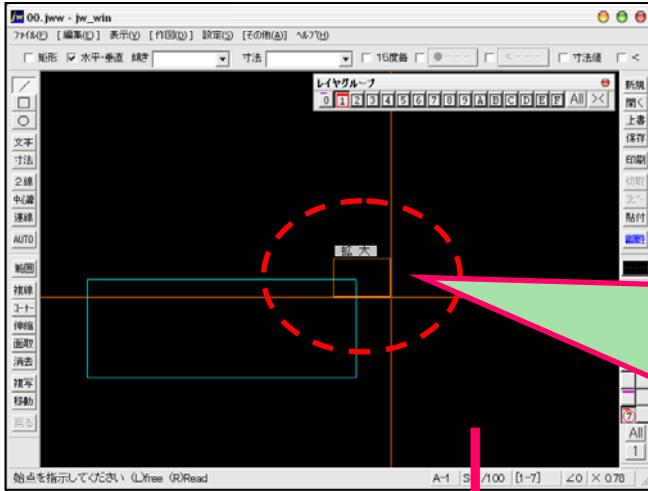
…始点は円上となります。



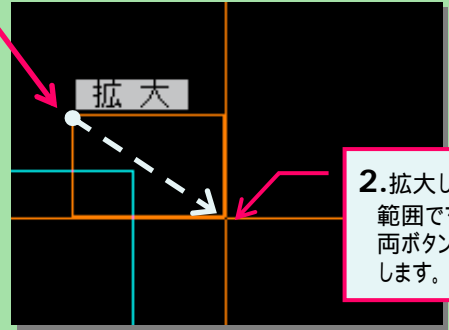
6-2(5). マウスによる画面表示操作-1

ここではマウス操作による画面表示の操作を見ていきましょう。

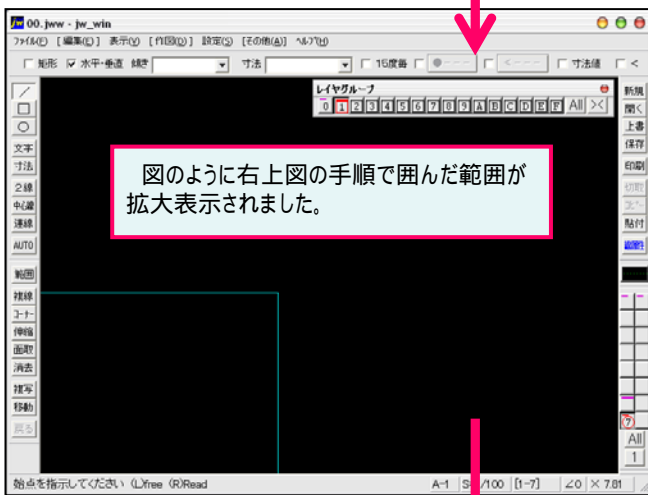
1. マウスによる画面の拡大。



1. マウス両ボタンを同時に押したまま右下方向へ移動。下図のように「拡大」と範囲の枠も表示されます。

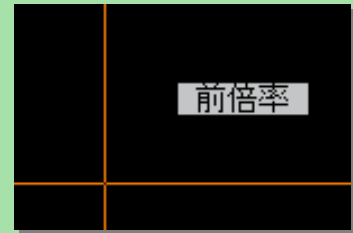


2. 拡大したい範囲でマウス両ボタンを離します。

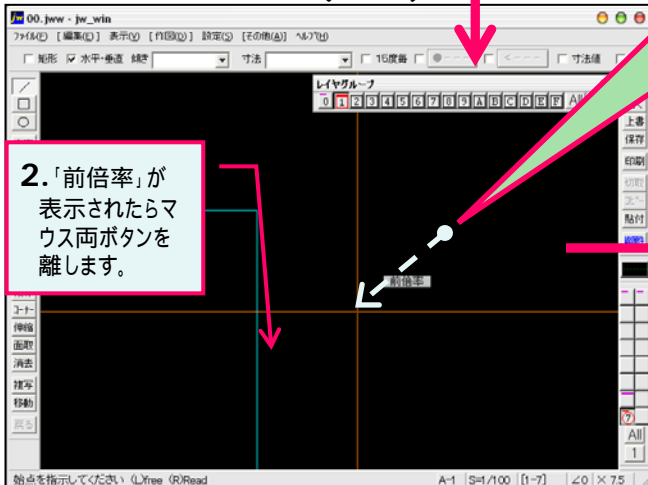


図のように右上図の手順で囲んだ範囲が拡大表示されました。

1. マウス両ボタンを同時に押したまま左下方向へ移動。下図のように「前倍率」が表示されます。

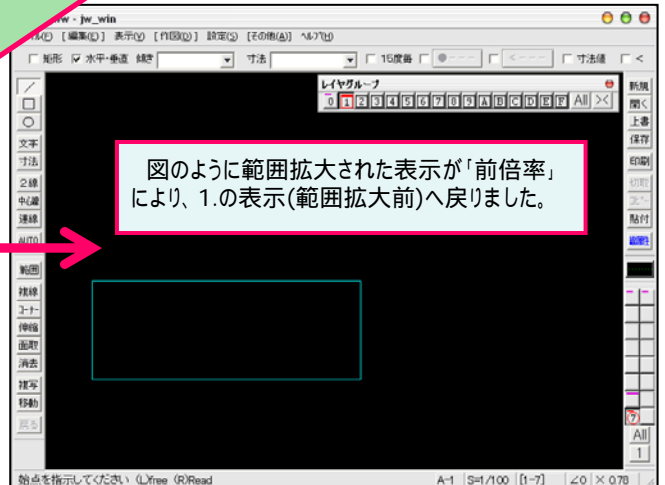


2. マウスによる画面の縮小(前倍率)



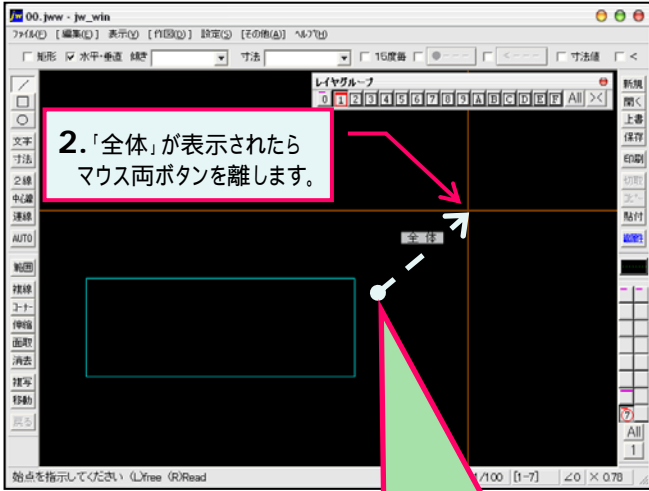
2. 「前倍率」が表示されたらマウス両ボタンを離します。

図のように範囲拡大された表示が「前倍率」により、1.の表示(範囲拡大前)へ戻りました。

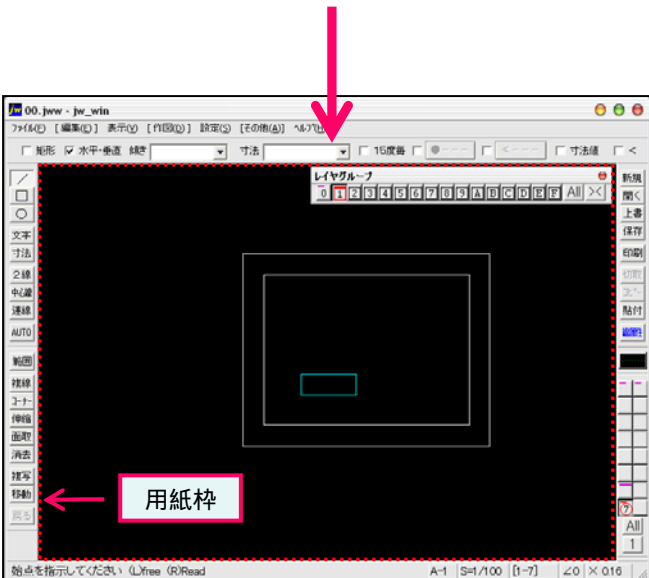
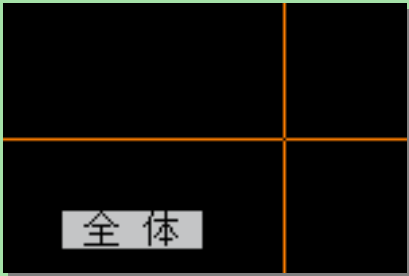


6-2(6). マウスによる画面表示操作-2

3. マウスによる画面の縮小(全体図表示).

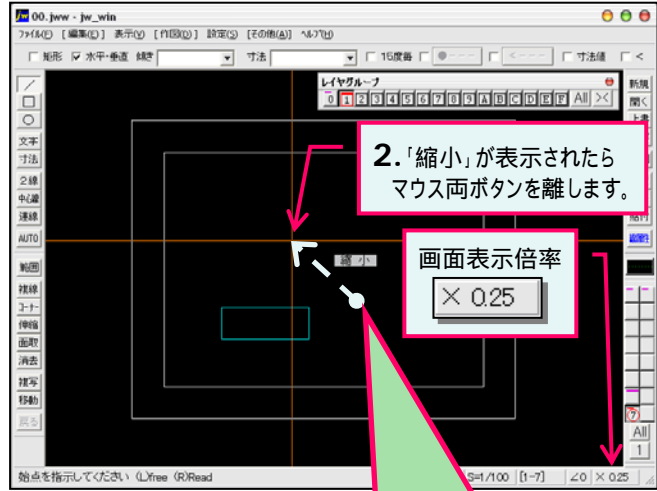


1. マウス両ボタンを同時に押したまま右上方向へ移動。下図のように「全体」が表示されます。

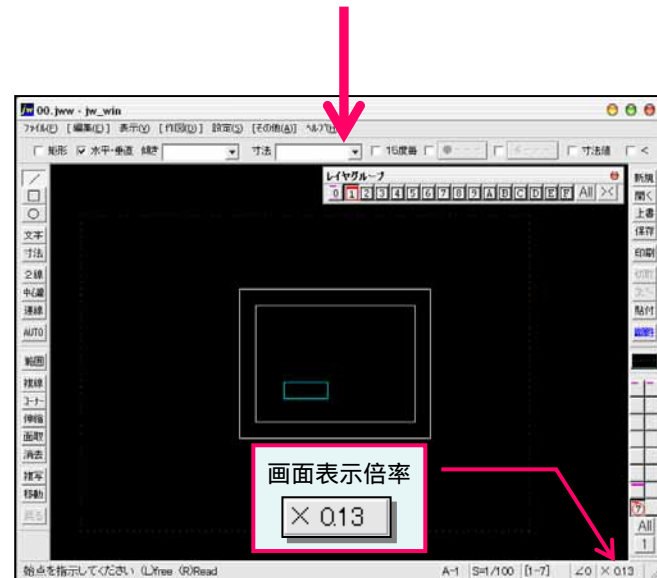
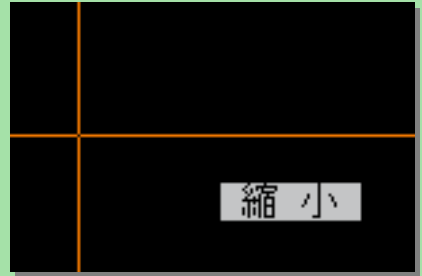


図のように用紙枠全体が表示される状態へ縮小されます。

4. マウスによる画面の縮小.



1. マウス両ボタンを同時に押したまま左上方向へ移動。下図のように「縮小」が表示されます。



図のように画面表示倍率が約1/2へ縮小されます。